

東北地域向けの早生の稲発酵粗飼料専用新品種「べこごのみ」



研究のねらい

飼料イネ栽培の低コスト化を図るには、飼料イネ専用品種を用いることが望ましい。東北地域で栽培できる稲発酵粗飼料専用品種として、現在までに中晩生の「べこあおば」、「夢あおば」が育成されているが、東北地域中北部では熟期がやや遅いため、基幹食用品種より早く収穫することができない。そのため、東北地域中北部に適した早生の稲発酵粗飼料専用品種を育成する。

成果の内容

- ①「べこごのみ」は、出穂期、成熟期が“早生の早”で、東北地域中北部に適する稲発酵粗飼料の専用品種である。
- ②早生・多収の「アキヒカリ」より、稈長は長い“中稈”、穂長は「アキヒカリ」より長い“やや長”、穂数は少なく“穂重型”である。
- ③黄熟期の乾物収量は「アキヒカリ」より移植栽培で6%、直播（表面散播）栽培で9%多収である。また、TDN含量は60%程度であり、TDN収量は「アキヒカリ」より移植栽培で6%、直播（表面散播）栽培で5%多収である。



図1 ベこごのみの草姿（移植栽培）



図2 籾及び玄米
(左：べこごのみ、右：アキヒカリ)



図3 直播（表面散播）栽培での草姿
(ラベルより左：アキヒカリ、右：べこごのみ)

成果の利活用

- ①栽培適地は、東北地域中北部及びそれ以南の地域である。
- ②安定した収量と栄養価を得るためには、黄熟期に収穫を行う必要がある。